



発行 真宗大谷派 高山教務所
発行者 出雲路 善公
〒506-0857 高山市鉄砲町6番地
☎(0577)32-0776
*毎月20日発行 50,000部
三市一郡無料配布
印刷 山都印刷株式会社

念じられ
照らされて

空き家は生死の園の証

譲西賢



〈略歴〉
一九五三年生まれ。真宗大谷派大垣教区 慶円寺(きやうえんじ)住職。岐阜聖徳学園大学 教育学部学校心理専修 教授。著書に、『暮らしに役立つ真宗カウンセリング術』(今、ここに生きる喜び)、『自分の「心」に気づくとき』(いずれも法蔵館)等がある。

今年四月に愛媛県の松山刑務所大井造船作業場から男性受刑者が脱走して、瀬戸内海の向島に潜伏していると推測された。その捜索は難航しました。そして約三週間後の四月三十日に広島市内で身柄を拘束されました。捜索の壁は、島の約十分の一と言われる千軒に上る空き家とのことでした。空き家といえども捜査員は勝手に立ち入りできず、現代社会の盲点が、意外なことから浮き彫りになりました。このことは、向島に限ったことではありません。私が預かっている寺は、JR大垣駅から約六キロの田園地帯にある百五十軒ほどの集落のなかにありますが、十軒ほど空き家があり、一昨年と今年は、小学校入学児童がゼロでした。飛騨地方も同様の地域は多いことと推察します。二〇一三年の統計では、全国で空き家は約八百二十万軒あり、空き家率は13・5%、岐阜は15・2%とのこと。現在はさらに深刻化していることは間違いありません。

豊かで安全な国と評され、海外からの渡航客が年間三千万人に届くという現在の日本ですが、公共交通機関から見放され、買い物難民と言われ、私たちの生活にまで入り込んで、苦悩する私たちに応じた用きをしてくださる如来の具体的なすがたを説明してください。

今日、空き家の多い田舎と住みやすさから人々が集中する都会の格差は、目先の快適さに心奪われて煩悩の林で惑い、損得で判断して生死の園に迷う人間がつくる世界だから、なるべくしてなっている現状なのです。生死の園ですから、少しでも高い賃金の仕事を求めて人は動き、人が集まれば教育・福祉・医療・文化などは充実し、益々関心は高まります。これに対して関心の向けられない地域は、人々が離れ疲弊し寂れます。間違いなく今日の日本は、生死の園であると自覚する縁をいただいています。あるいは、この先時代が変われば、生死の執着ゆえに田舎に人々が集まることもあるのではないのでしょうか。

しかし、煩悩と損得の判断を優先し、生死に執着する人間にこそ、応化を示してください。人間が生きていくことは、煩悩の林、生死の園のなかで生きていくということですから、苦悩や迷いから抜け出すことはできません。煩悩に振り回され、生死に執着してしか判断できない自分であることを自覚するしかないのが私たちです。自分は冷静なつもりでも、損得にこだわってしか判断できないから、「自分の判断は、当てにならないぞ」と、私に気づかせてくださる用きが、いつでもどこでも、決してえらばず、きらわず、みすてず届いているのです。私たちは、この阿弥陀如来を確信すること念じられていますから、自信と安らぎをもって生きていられるのです。

飛騨御坊 御遠忌通信 ⑪

高山別院第二期工事 本年10月中旬に完了予定

昨年12月より着工しております第二期工事について、当初11月末の完了を予定しておりましたが、おかげさまで本年10月中旬頃に完了する目途が立ちました。これにより、本年の別院報恩講は修復の完了した本堂で執り行われることとなります。また11月1日午前には、ご本尊の阿弥陀如来像が本堂へお戻りになる、御本尊還座式が執り行われる予定です。



現在の本堂のようす

御遠忌お待ち受け事業始まる

飛騨御坊御遠忌750をお迎えするにあたり、各地域においてお待ち受け事業が勤まります。その第1弾として吉城組でお待ち受け法要が勤まりますので、皆様ぜひお参りください。

吉城組 御遠忌讃仰法要

日時 2018年6月3日(日) 午後1時半から

場所 南春寺(国府町三川1625)

講演講師 木名瀬 勝氏(東京教区)

蓮の実念珠あります

大好評につき在庫わずかです。お問い合わせは高山別院事務所(0577-32-0688)まで。

御遠忌記念 仏具等の指定寄付のお願い

御遠忌推進委員会では下記のとおり仏具・備品等の指定寄付をお願いしております。ご奨励・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

Table with 5 columns: No., 寄付項目, 説明, 数量, 金額及び寄付口数. It lists items for donation such as altar cloths, incense burners, and chairs.

詳細については高山教務所(0577-32-0776)までお問い合わせください。

別院定例法座 午後1時から

6月3日 三日のご坊

6月28日 親鸞聖人ご命日法座

講題 「飛騨と教如上人」

講題 「街道と真宗寺院」

講師 竹田 雅文氏(東等寺)

講師 白尾 匡氏(長圓寺)

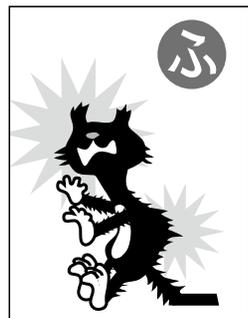
☎テレホン法話(0577)34(2313) ○5月21日〜31日:小原正寛氏「専念寺」 ○6月1日〜10日:三島ゆかり氏「西念寺」 ○6月11日〜20日:澤邊恵亮氏「誓願寺」 宗教トラブル相談窓口(0577)3210763

家話で語ろう

女と男の

ナムアマミダブツ ②

藤場 芳子



ふ 踏まれたら その時痛いと言いたいね

女人禁制

友人にスー女(相撲好きの女子)がいるので、彼女の影響を受けて、テレビで大相撲を観るのが最近の私の楽しみの一つになっています。何度も繰り返される仕切りの時間がなんともまどろっこしく、昔は年寄りが観るものだと思っていました。今やテレビの前で一喜一憂しながら応援しているのですから、スー女の力は恐るべしです。最近の大相撲の人気は女性に支えられているといっても過言ではないと思いますが、そんな中で起きた今回の「土俵は女人禁制」。皆さんはどのように感じましたでしょうか。

伝統のルーツ

人命救助のために一刻を争うと判断して土俵上がった女性に対して、「女性を下りてください」とアナウンスされたのが事の発端でした。理由は「伝

統だから」でした。いい機会だと思ひ、相撲の歴史を調べてみました。わかっ

たことは、①相撲の記録として初めて載っているのは『日本書紀』で、采女(宮中に勤めた女官)による女相撲だった。②江戸時代までは女同士の相撲だけでなく、男女の取り組みもあり興行として行われていた。③開国によって外国人の目にふれるようになり、「裸体でぶつかりあうのは野蛮」という声が聞かれるようになったので、男女相撲は禁止され、その後女性は相撲から切り離されていった。④1909(明治42)年に建てられた常設の施設が「国技館」と命名されたが、法令に定められた「国技」ではない、など。初めて知ることばかりでした。

理由にされた「穢れ」

女性が土俵に上がることが認められてこなかった理由の1つに「穢れ」があり、仏教や神道の影響があると言われています。私は女性が穢れているのではなく、男性僧侶の修行の妨げになるから、そのような穢れ観を巧みに論理付けたのではないかと思っています。神道では女性の出産や生理による血を赤不浄として、一定期間隔離して他人に近づけないようにした歴史があります。現代では「穢れ」が女人禁制の正当な理由だと思っている人はいないのではないのでしょうか。あの日、応急措置をした後、女性が慌てて土俵から下りていく姿をテレビ画面で見た私は、とても悲しかったのです。見たくない

光景でした。私たちの意識が土俵に象徴されている思いました。「見えない土俵」が日常のあちこちにあるのではないか、そんなことを感じたからです。

声をあげる

今回の句は「踏まれたら その時痛いと言いたいね」です。カルタの絵のように猫なら「痛い」とすぐに声をあげるし、踏んだ人も「ごめん、ごめん」とすぐに謝るでしょう。でも現実にはそう簡単ではありません。相手との力関係によって「痛い」と言えない時や、踏まれている本人でさえ気づかない時があります。踏まれ続けていると感覚が麻痺してしまうからです。このことは「女人禁制」に限らず、法事などでの席次、〇〇会長など役職者の固定化、性別による役割分担にも言えます。些細なことのように思いかもしれませんが、これらのことに痛みを感じる人は確かにいるのです。他人の足を踏んでいる自覚がない場合には、気づいた人が声をあげてその人に伝えるしかないでしょう。それには勇気が要ります。もし私たちの周りにそういう人がいたら、その人を独りにしない、それが大切なことだと思います。

声を聞く

平野修さんの言葉に「仲良しは仲間外れを作る」があります。仲良くすることとは悪いことではないけれど、それが仲間内だけの閉鎖性を持った時に、仲間外れを作るからです。初めてこの言葉を知った時、私も気づかないうちに誰かを排除する土俵をつくってきたかもしれないと思ひ、ドキッとしました。残念なこと、自分自身ではそのことを自覚することができません。見えない土俵に気づかせてくれる声。その声が私たちに聞こえているでしょうか。

次回は佐賀枝夏文さんの「人生の「こんなこと」「あんなこと」③」です。

教化研究所 課題別講義(公開)

日時 5月24日(木)
午後1時半から
講師 竹橋 太氏
(本山本願部出仕)
内容 帰敬式の歴史とその意義について
会場 高山別院会館 2階研修室
高山三組若声会 連続公開学習会②
日時 5月30日(水)
午後7時半から
講師 海 法龍氏
(東京教区長願寺)

婦人研修会参加者募集

日時 6月25日(月)
午後1時~午後3時半
会場 高山別院 仮本堂
講師 讓 西賢氏
(大垣教区慶円寺)
講題 未定
会費 500円
※申し込みはお手次のお寺まで(6月13日締切)

佐奈姫忌法要案内

佐奈姫(1633~1667)は、東本願寺第十三代宣如上人の娘で、照蓮寺宣心にわずか9歳で嫁ぎ、35歳の短い生涯を終えました。その墓前で法要を営み、聞法の座をもちます。
日時 6月26日(火)
午後1時半
会場 松本町佐奈姫墓所
松本町公民館
講師 三島多聞輪番
※別院から送迎があります。午後1時まで別院事務所に集合ください。

「ひとりからはじめる 子ども若者ご縁づくり」 講習会参加者募集!

日時 6月1日(金) 10時~15時まで
会場 高山別院会館2階(研修室)
対象 大谷派寺院に所属し、お寺の子ども会活動に関心のある門徒・寺族
※詳しくは高山教務所まで。

子ども奉仕団 参加者募集

7月29日(日)~31日(火)
京都の東本願寺に全国から子どもたちが大集合!みんなで おつとめしたり、おそうじをしたり、お話を聞いたり、遊んだりしながら一緒に生活します。
会場 東本願寺(京都市)
参加費 12,000円(食費・保険等含む)
対象 小学校4~6年生
締切 6月29日(金)
※お手次のお寺もしくは高山教務所にお申し込みください。
※定員になり次第、締め切らせていただきます。

児童 夏のつどい in 願徳寺

7月26日(木)~27日(金) 開催!
紙すき体験などいろんなイベントが盛りだくさん。飛騨地域のともだちとたのしい夏をすごしてみませんか?
会場 願徳寺(飛騨市河合町羽根)
参加費 2,500円(食費・保険等含む)
対象 小学校3~6年生
締切 7月2日(月)
※お手次のお寺もしくは高山教務所にお申し込みください。
※定員になり次第、締め切らせていただきます。